

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601218
事業所名	グループホームしらゆり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	自治会に加入し、回覧板で地域行事を確認している。利用者と散歩の折には、挨拶を交わし、神社に初詣や近くの公園に花見などに出かけている。地域の中学生の福祉体験授業では、学生たちが訪れ楽しい時間を過ごした。近隣の人から、家族の介護についての質問があり、役所への手続き方法を教えたり、相談を受けたりしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年6回の会議を開催し、いきいき支援センターからも1回の参加を得ており、行事報告や意見、要望について話し合われている。食事内容や外出先についての多くの意見が提出され、一つ一つに真摯に向き合い、前向きに取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市や区役所へは、通常の手続きなどで訪れているが、生活保護受給者の利用があるので、保護課と連絡を密に取っている。今年度は特に、家族問題を抱えた利用者の相談に行き、対策や手続きなどで緊密な連携を取っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族の面会時や電話連絡の際に、意見、要望を聞き取るようにしている。「申し送りノート」を使って、職員間で情報を共有し、実践につなげている。家族会は敬老会と共に、職員が家族と交流しながら、要望を汲み取る良い機会となっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。